

配艇関係連絡事項

1 競技艇

インターハイ向けのパーツ図面を下記のとおり、掲載しましたのでお知らせします。

<http://www.k-boat.co.jp/> 御確認いただきますよう、お願い申し上げます。

2 配艇受付・返却について

- (1) 配艇場入場及び配艇受付時に ID が必要になりますので、必ず持参してください。
- (2) レースに出漕するクルーは、事前に A 監視(初日のみ)とコックス計量を済ませてください。
- (3) 公式練習・レースともに、配艇時刻の 10 分前より受付を行います。
- (4) 受付をしたクルーは、「配艇カード」を受け取り、使用する艇を間違えないよう競技艇名を確認してください。
- (5) 艇の返却前には必ず艇の点検を受け、艇点検票を受け取ってください。なお、艇の故障や破損がある場合は、速やかに係員に報告してください。
- (6) 公式練習又はレース使用後は、速やかに艇を返却してください。なお、返却時は、艇点検票と配艇カードを配艇受付まで持参してください。艇の返却が遅れると大会日程に影響が出ますので御協力ください。

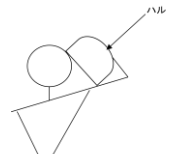
3 リギング全般

- (1) モンキーレンチは、破損の原因になりますので使用禁止です。また、ストレッチャーの蝶ナットは、手で締めて、プライヤーは使用しないでください。
- (2) リガー取付け穴については、一番低くなるように設定してあります。アッセンブリの穴を変えても高さが取れず、リガー取付け穴の位置を変更する場合は、係員まで申し出てください。
- (3) リギングの際は、ピンをたたいたりナットを締めすぎたりするなど、艇の故障の原因となる行為はやめてください。
- (4) ストレッチャーの角度調整のため、ワッシャーを抜く場合、使用後は元の数に戻してください。
- (5) リガーに波よけのテープを貼るクルーは、リガーに粘着のりが付着しないテープを使用してください。(養生テープなど)
- (6) 原状回復が困難なほどの艇の調整・加工は禁止します。リギングがうまくいかないときは無理に調整しようとするのではなく、係員又はメンテナンススタッフに申し出て相談してください。
- (7) 艇を返すときはゆっくり行い、ウマや膝に当てないようにしてください。ウマの上で艇を返すと、ウマにぶつかることがあります艇の損傷の原因となります。なお、舵手つきクォドルブルを返すときに、ウマからの距離に気をつけてください。

4 部品交換等

- (1) ストレッチャー、シート、レールの交換は、計測委員の許可が必要となります。所定の届出用紙に必要事項を記入し、リギング開始の1時間前（前日配艇の場合はその時）までに、計測委員に提出してください。必ず、許可を受けてから交換してください。なお、部品の交換は、リギング時間内に行ってください。また、ストレッチャーを交換したクルーは、返却時にヒールロープを復元してください。
- (2) 規格艇の標準値を超えてシートレールを前に出す場合は、サポート金具の使用が義務付けられています。具体的には、ベアリングウィール（コロ）がシートレールの下にサポートがない状態で前後輪とも載ってしまうような状態を指します。その際は、所定の用紙をリギング開始の1時間前（前日配艇の場合はその時）までに計測委員に提出し、サポート金具を借り受けてください。
- (3) 女子舵手つきクォドルプルは、NK製のCOXBOX・マイク・カップブラケットを配艇受付時に貸出します。各クルーで所有している場合は、自前のものを利用することができます。なお、貸出しするカップブラケットは、裏面にマジックテープで波よけに付けられるようにしています。また、スピーカー及び配線はすでに艇に設置済みです。

5 その他

- (1) リギングの作業や艇の運搬は、お互いに譲り合って円滑に行ってください。配艇場から栈橋まで、係員の誘導に従い、艇の運搬には十分気をつけてください。
- (2) シングルスカルは、2人で運搬してください。船底（ハル）を横向きにし、できる限り波よけに近いところを持つようにしてください。

6 栈橋について

- (1) 栈橋は6か所あり、レース時は、スタート側から1レーン→6レーンのレーンナンバーで固定です。係員の指示がありますので、その指示に従ってください。
- (2) 栈橋周辺は混雑が予想されます。ユニフォームを着用してから出艇するなど、速やかに乗艇できるように準備しておいてください。また、栈橋の上でのネジの確認等も、混雑の原因となりますので、ゆるみがないようにリギング場で確認してください。
- (3) 航行ルールをしっかりと守り、接触・衝突がないよう他艇の動き等に十分注意してください。
- (4) 艇の破損を防ぐため、特に以下の点に注意してください。
 - ・ 水面に艇を置くときは、栈橋に当たらないようにできるだけ遠くに下ろしてください。特に、舵手つきクォドルプルはラダーやフィンの破損が多いので、上げ下ろしするときコックスは必ずラダーの状態に気を付けてください。
 - ・ 風や波があるときの栈橋からの離岸・着岸はゆっくりと慎重に行ってください。離着岸の技術に自信があっても、係員がいることを確認してから着岸してください。
 - ・ 栈橋付近の水上は大変込み合うため、徐行してください。安全に十分注意し、ゆっくりと出艇及び帰艇してください。

前日配艇について

今大会では、早朝レース時間帯の選手・監督の負担を軽減する目的で、準々決勝及び準決勝の前日配艇を行います。以下の注意事項を御確認ください。

1 日程と対象クルー

月日	時間	対象クルー
7月31日（火）	13:30～14:30	翌日の各種目1・2組に出漕するクルー
8月1日（水）	15:30～16:30	翌日の各種目1・2組に出漕するクルー

※ 予選の前日配艇はありませんが、その代替として公式練習2日目の4ローテーション目は、予選各種目1・2組のクルーとしています。該当するクルーは、リギングの解除はせず、そのまま予選レースで使用してください。

2 必ず時間内に終了してください。終了時刻になりましたら、リギングを中断し、配艇カードを返却していただきます。

3 前日配艇は、リギング調整のみとし、水上でのリギング確認及び練習はできません。

4 レース当日の配艇時刻は「前日配艇」の有無に関わらず、レース時刻の90分前とします。

また、レース当日も必ず配艇受付をしてください。受付を通らず（配艇カードを受け取らず）リギングを開始したり、出艇したりすることが無いよう御注意ください。

5 天候等の事由によりレース終了が遅れた場合は、前日配艇を実施しないことがあります。

【問合せ先】

配艇担当 大野 桜

（愛知県立豊田北高等学校 ボート部顧問）

TEL: 0565-80-5111 FAX: 0565-80-9408

E-mail: k622648x@m2.aichi-c.ed.jp